

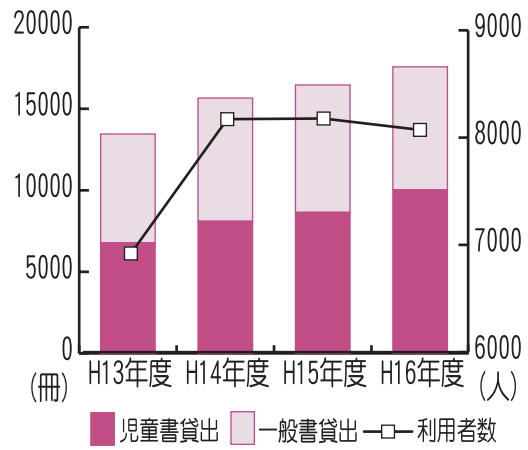
名和町読書事情報告



名和町では、「本のある暮らし」をテーマに読書推進を進めています。特に近年は、子どもたちの読書活動支援や体制づくりに力を入れています。公民館図書室の改修やブックスタート、保育所への巡回貸出。また、学校には図書司書を配置して学校図書館の充実を図り、子どもたちに寄り添う形で読書を応援しています。3年前にオープンした人権交流センター図書室の貸し出しも順調に伸びています。一人ひとりの暮らしを応援し、生涯学習を支える図書サービスの今、そしてこれからを報告します。

名和町公民館貸出冊数

(平成16年度は12月までの統計をもとに概算)

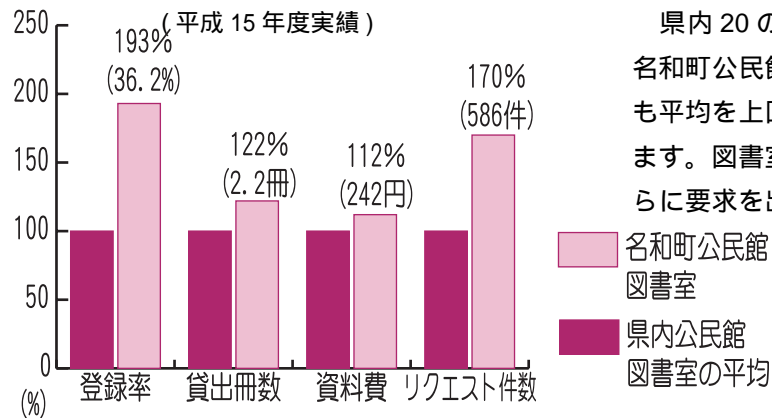


公民館図書室での個人貸出冊数およびリクエスト数は伸びていますが、利用者数は横ばい状態にあります。「本のある暮らし」をしようとする人はあまり増えていませんが、本をくらしに取り入れている人は、図書室に通い、どんどん「読書」を深めている、という状態です。

児童書の伸びが顕著です。子どもたちが本に親しむ機会を増やしていることは、とてもうれしいことです。ただ、全体から見ると『読書好き』の子どもたちは、まだ多いとは言えないので、貸出冊数とともに利用者数を増やしていくことが、今後の課題です。

県内20の公民館図書室の統計平均値を100とした場合の、名和町公民館実績との比較をグラフにしてみました。どの数値も平均を上回っており、町民の生涯学習への意識の高さを感じます。図書室が利用者の要求に応え、利用者が学習を深めてさらに要求を出していく、という相乗効果が生まれていきます。

県内統計と公民館図書室の比較



すでに電算化している中山町民文庫とネットワークを結ぶため、名和町公民館図書室、大山中央公民館図書室の図書をデータ化する作業が進んでいます。新「大山町」では、これらの図書が、町民の共有財産として管理され、貸し出しカード1枚でだれでも利用できるようになります。

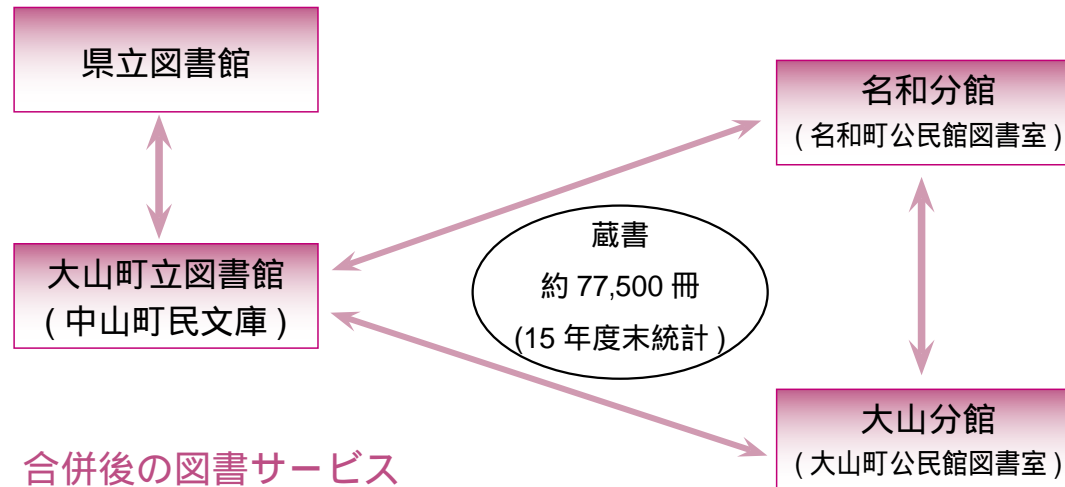
1冊の本は人の暮らしを豊かにし、未来を拓いてくれます。そして図書館は情報拠点として、文化センターとして町民のみなさんの生涯学習を支援します。

平成16年度 名和町公民館図書室の主な取り組み

- 読み聞かせ養成講座 (全7回、受講生9人)
- ボランティアの育成支援 (学校・ふれあい会館などで活動が始まっている)
- 名和町親子読書推進大会 (6月20日・21日、参加者300人)
- 町民の実践発表、講演会、調べ学習指導、研修会など
- 全国訪問「お話隊」キャラバンカーが来るよ! (6月29日・30日、参加者148人)
- 絵本を積んだキャラバンカーを町内3か所に誘致し、お話会を実施。
- 「本・ほん・絵本・お話」フェスタ (12月12日、参加者93人)
- 「民話」をテーマにした交流研修会、お話会、アンケート、展示など
- 「お～い、お話会だよ～」 (2月20日)
- お話会、ボランティアサークル交流研修会

平成16年度 町内各図書館(室)の主な取り組み

| | |
|-------------|---|
| 名和中学校図書館 | 教員と生徒のいっせい朝読書、本の持ち寄りリサイクル市 |
| 庄内小学校図書館 | 毎週火曜日読み聞かせ (教員、児童、ボランティアなど) ブックランド庄内 (担任が希望する内容、冊数、期間に応じた図書を定期的にクラスに届ける) |
| 名和小学校図書館 | 図書館の改修 (書庫の開放、書架購入など)、ボランティア受け入れ (図書室作業、読み聞かせ)、名和小図書館応援団 (3年計画) |
| 光徳小学校図書館 | 各学年毎週1時間「図書の時間」の授業を学校図書館でおこなう (読書・調べ学習など)、家庭での読書意識調査 (アンケート・クイズなど) |
| 人権交流センター図書室 | 絵本読み聞かせ教室 (毎月1回、庄内保育所と合同で親子に読み聞かせ)、新刊書のホームページ公開 |



合併後の図書サービス